

■まちづくり交付金交付団体紹介 深谷地区 まつりを通じて地域を元気に！

Interview



深谷夏まつり実行委員長
あべ よしまさ
阿部 義正さん

8月14日、「深谷夏まつり大会」を深谷公民館広場で開催しました。昨年までの夏まつりは、深谷西区下白鳥会(若者会)主催で西区下地区民限定で開催していました。しかし、白鳥会の会員が減少し、開催が困難となり、深谷地区の自治会長で相談したところ、本年は、「白石市まちづくり交付金」を活用してどうかという意見が上がりました。そこで、東区・西区下・西区上、南区・北区から実行委員を募って、深谷地区のまつりとして開催することにし、今回は、まつり開催に必要な舞台設置費、発電機・音響設備賃借料などの費用の交付を受けることができました。

まつり当日まで時間が無く、慌ただしい日々でしたが、地域の人たちの連帯と協力で成功裏にまつりを開催することができました。まつりを通して、さまざまな世代の人たちが、地区のことに関心を持ち、人のつながりが深まったのではないかと思います。

まつり当日のオープニングイベントでは、子ども向けにスリッパ飛ばしやジャンケン大会を開催。また、焼きそばやフランクフルト、綿あめ、金魚すくい、水風船コーナーは、子どもたちに人気で、メインイベントの盆踊り大会も、老若男女を問わず、たくさんの人たちの笑顔であふれていました。

「みんなで何かをすること」で、地域が元気になるのではないかと思います。これからも深谷地区の夏の恒例イベントとして、このまつりが地域の人たちの集う場になればとてもうれしいです。



1・3・4・6 思い思いの服装でまつりを楽しむ参加者。中には子どもを肩車して踊るほほえましい参加者も！ 2_「深谷神明神楽」を披露する深谷小学校の児童たち。「深谷神明神楽保存会」の指導を受け、踊りに込められた願いや思いを受け継いでいる 5_金魚すくいは子どもたちに大人気！ 7_笛や太鼓が奏でる音色、なじみの唄が流れ出せば心も体も踊り出す 8_各地区から総勢約60人の実行委員がまつりの準備や片付けに当たり、参加者に笑顔と元気を届けた



市民が主役
「白石市まちづくり交付金事業」がスタート！

市では、平成25年度から、第五次白石市総合計画で各地区が策定した「まちづくり宣言」を実現するため、各地区のまちづくり協議会や地域づくり団体などが行う事業を支援する、「白石市まちづくり交付金」制度をスタートしました。

このまちづくり交付金を活用した事業を4月から募集

していましたが、申請のあった事業について、7月24日に交付金事業審査会において審査が行われ、次の事業が採択となりました。

平成26年度事業は平成26年1月から2月に募集します。交付金を活用したい事業などがありましたら、生涯学習課(☎22-1343)までお問い合わせください。

■平成25年度採択事業

地区	事業名(団体名)	事業内容(交付金の使いみち)
白石	沢端川周辺環境美化整備事業(沢端川を守り鯉を育てる会)	沢端川周辺の樹木剪定・歩道への影石設置など
大平	史跡の里 大平のふるさとづくり(大平公民館運営会議)	大平史跡案内板1基・史跡看板5基設置など
大鷹沢	奥州白石噺プロジェクト(大鷹沢第一区孝子会)	奥州白石噺の舞台「八枚田」での水稲作付けに必要な水揚げポンプなどの購入
	神楽装束整備事業(榊流大町神楽継承会)	白石市指定民俗文化財継承のための衣装などの購入
深谷	三住の歴史と自然と生活の案内板設置事業(三住自治会)	三住の歴史や生活などを紹介する案内板の設置
	深谷夏まつり大会(深谷夏まつり実行委員会)	まつり開催に必要な舞台設置費、発電機・音響設備賃借料など
小原	検断屋敷まつり(小原地区活性化推進協議会)	まつり開催に必要な出演者謝礼、音響設備賃借料、チラシ作成代など